

電子提供措置の開始日2023年5月22日

第61回定時株主総会
その他の電子提供措置事項
(交付書面省略事項)

■事業報告

新株予約権等に関する事項・・・ 1～20ページ

■連結計算書類

連結注記表・・・ 21～33ページ

■計算書類

個別注記表・・・ 34～40ページ

自 2022年4月1日 至 2023年3月31日

株式会社ミスミグループ本社

事業報告

新株予約権等に関する事項

(1) 当事業年度末日における当社役員の保有する新株予約権の状況

回次	第20回新株予約権
発行決議の日	2014年6月13日
保有人数	
当社取締役（社外役員を除く）	1名
当社社外取締役（社外役員に限る）	一名
当社監査役	一名
新株予約権の数	40個 (新株予約権1個につき目的となる株式数は300株)
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	12,000株
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり1円
新株予約権の行使期間	2014年11月8日～2044年11月7日
新株予約権の主な行使条件	<p>イ. 取締役は、当社、当社の子会社若しくは関連会社の役員または従業員いずれの地位をも喪失した日から10日以内に限り、権利を行使することができる。</p> <p>ロ. 上記イ. 以外の新株予約権の行使の条件については、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当てを受けた者との間で締結する新株予約権付与契約に定めるものとする。</p>
新株予約権の取得事由	<p>イ. 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、当社が分割会社となる吸収分割契約もしくは新設分割計画の承認の議案、または、当社が完全子会社となる株式交換契約承認の議案もしくは株式移転計画承認の議案が株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は、当社取締役会決議がなされたとき）は、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p> <p>ロ. 当社は、取締役が上記の新株予約権の主な行使条件の規定により権利を行使する条件に該当しなくなった場合には、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する取締役が保有する当該新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p>
有利な条件の内容	—

回次	第22回新株予約権
発行決議の日	2014年10月23日
保有人数	
当社取締役（社外役員を除く）	1名
当社社外取締役（社外役員に限る）	一名
当社監査役	一名
新株予約権の数	10個 (新株予約権1個につき目的となる株式数は300株)
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	3,000株
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり1円
新株予約権の行使期間	2017年11月7日～2024年11月6日
新株予約権の主な行使条件	<p>イ. 新株予約権者は、権利行使時においても、当社または当社の子会社若しくは関連会社の役員または従業員の地位にあることを要する。ただし、権利行使時において当該地位に存しない場合といえども、新株予約権者が上記の行使期間の開始後に退任または退職した場合には、退任日または退職日の翌日の2年後の応当日または行使期間の満了日のいずれか早い日までの期間に限り、権利を行使することができる。</p> <p>ロ. 上記イ. 以外の新株予約権の行使の条件については、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当てを受けた者との間で締結する新株予約権付与契約に定めるものとする。</p>
新株予約権の取得事由	<p>イ. 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、当社が分割会社となる吸収分割契約もしくは新設分割計画の承認の議案、または、当社が完全子会社となる株式交換契約承認の議案もしくは株式移転計画承認の議案が株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は、当社取締役会決議がなされたとき）は、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p> <p>ロ. 当社は、新株予約権者が上記の新株予約権の主な行使条件の規定により権利を行使する条件に該当しなくなった場合には、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権者が保有する当該新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p>
有利な条件の内容	—

回次	第23回新株予約権
発行決議の日	2016年2月10日
保有人数	
当社取締役（社外役員を除く）	1名
当社社外取締役（社外役員に限る）	一名
当社監査役	一名
新株予約権の数	95個 (新株予約権1個につき目的となる株式数は100株)
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	9,500株
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり1円
新株予約権の行使期間	2016年2月26日～2046年2月25日
新株予約権の主な行使条件	<p>イ. 取締役は、当社、当社の子会社若しくは関連会社の役員または従業員いずれの地位をも喪失した日から10日以内に限り、権利を行使することができる。</p> <p>ロ. 上記イ. 以外の新株予約権の行使の条件については、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当てを受けた者との間で締結する新株予約権付与契約に定めるものとする。</p>
新株予約権の取得事由	<p>イ. 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、当社が分割会社となる吸収分割契約もしくは新設分割計画の承認の議案、または、当社が完全子会社となる株式交換契約承認の議案もしくは株式移転計画承認の議案が株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は、当社取締役会決議がなされたとき）は、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p> <p>ロ. 当社は、取締役が上記の新株予約権の主な行使条件の規定により権利を行使する条件に該当しなくなった場合には、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する取締役が保有する当該新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p>
有利な条件の内容	—

回次	第25回新株予約権
発行決議の日	2016年2月10日
保有人数	
当社取締役（社外役員を除く）	1名
当社社外取締役（社外役員に限る）	一名
当社監査役	一名
新株予約権の数	36個 (新株予約権1個につき目的となる株式数は100株)
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	3,600株
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり1円
新株予約権の行使期間	2019年2月25日～2026年2月24日
新株予約権の主な行使条件	<p>イ. 新株予約権者は、権利行使時においても、当社または当社の子会社若しくは関連会社の役員または従業員の地位にあることを要する。ただし、権利行使時において当該地位に存しない場合といえども、新株予約権者が上記の行使期間の開始後に退任または退職した場合には、退任日または退職日の翌日の2年後の応当日または行使期間の満了日のいずれか早い日までの期間に限り、権利を行使することができる。</p> <p>ロ. 上記イ. 以外の新株予約権の行使の条件については、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当てを受けた者との間で締結する新株予約権付与契約に定めるものとする。</p>
新株予約権の取得事由	<p>イ. 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、当社が分割会社となる吸収分割契約もしくは新設分割計画の承認の議案、または、当社が完全子会社となる株式交換契約承認の議案もしくは株式移転計画承認の議案が株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は、当社取締役会決議がなされたとき）は、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p> <p>ロ. 当社は、新株予約権者が上記の新株予約権の主な行使条件の規定により権利を行使する条件に該当しなくなった場合には、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権者が保有する当該新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p>
有利な条件の内容	—

回次	第26回新株予約権
発行決議の日	2016年9月15日
保有人数	
当社取締役（社外役員を除く）	1名
当社社外取締役（社外役員に限る）	一名
当社監査役	一名
新株予約権の数	86個 (新株予約権1個につき目的となる株式数は100株)
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	8,600株
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり1円
新株予約権の行使期間	2016年10月4日～2046年10月3日
新株予約権の主な行使条件	<p>イ. 取締役は、当社、当社の子会社若しくは関連会社の役員または従業員いずれの地位をも喪失した日から10日以内に限り、権利を行使することができる。</p> <p>ロ. 上記イ. 以外の新株予約権の行使の条件については、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当てを受けた者との間で締結する新株予約権付与契約に定めるものとする。</p>
新株予約権の取得事由	<p>イ. 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、当社が分割会社となる吸収分割契約もしくは新設分割計画の承認の議案、または、当社が完全子会社となる株式交換契約承認の議案もしくは株式移転計画承認の議案が株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は、当社取締役会決議がなされたとき）は、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p> <p>ロ. 当社は、取締役が上記の新株予約権の主な行使条件の規定により権利を行使する条件に該当しなくなった場合には、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する取締役が保有する当該新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p>
有利な条件の内容	—

回次	第28回新株予約権
発行決議の日	2016年9月15日
保有人数	
当社取締役（社外役員を除く）	1名
当社社外取締役（社外役員に限る）	一名
当社監査役	一名
新株予約権の数	58個 (新株予約権1個につき目的となる株式数は100株)
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	5,800株
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり1円
新株予約権の行使期間	2019年10月3日～2026年10月2日
新株予約権の主な行使条件	<p>イ. 新株予約権者は、権利行使時においても、当社または当社の子会社若しくは関連会社の役員または従業員の地位にあることを要する。ただし、権利行使時において当該地位に存しない場合といえども、新株予約権者が上記の行使期間の開始後に退任または退職した場合には、退任日または退職日の翌日の2年後の応当日または行使期間の満了日のいずれか早い日までの期間に限り、権利を行使することができる。</p> <p>ロ. 上記イ. 以外の新株予約権の行使の条件については、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当てを受けた者との間で締結する新株予約権付与契約に定めるものとする。</p>
新株予約権の取得事由	<p>イ. 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、当社が分割会社となる吸収分割契約もしくは新設分割計画の承認の議案、または、当社が完全子会社となる株式交換契約承認の議案もしくは株式移転計画承認の議案が株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は、当社取締役会決議がなされたとき）は、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p> <p>ロ. 当社は、新株予約権者が上記の新株予約権の主な行使条件の規定により権利を行使する条件に該当しなくなった場合には、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権者が保有する当該新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p>
有利な条件の内容	—

回次	第29回新株予約権
発行決議の日	2017年9月21日
保有人数	
当社取締役（社外役員を除く）	1名
当社社外取締役（社外役員に限る）	一名
当社監査役	一名
新株予約権の数	58個 (新株予約権1個につき目的となる株式数は100株)
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	5,800株
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり1円
新株予約権の行使期間	2017年10月7日～2047年10月6日
新株予約権の主な行使条件	<p>イ. 取締役は、当社、当社の子会社若しくは関連会社の役員または従業員いずれの地位をも喪失した日から10日以内に限り、権利を行使することができる。</p> <p>ロ. 上記イ. 以外の新株予約権の行使の条件については、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当てを受けた者との間で締結する新株予約権付与契約に定めるものとする。</p>
新株予約権の取得事由	<p>イ. 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、当社が分割会社となる吸収分割契約もしくは新設分割計画の承認の議案、または、当社が完全子会社となる株式交換契約承認の議案もしくは株式移転計画承認の議案が株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は、当社取締役会決議がなされたとき）は、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p> <p>ロ. 当社は、取締役が上記の新株予約権の主な行使条件の規定により権利を行使する条件に該当しなくなった場合には、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する取締役が保有する当該新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p>
有利な条件の内容	—

回次	第31回新株予約権
発行決議の日	2017年10月19日
保有人数	
当社取締役（社外役員を除く）	1名
当社社外取締役（社外役員に限る）	一名
当社監査役	一名
新株予約権の数	40個 (新株予約権1個につき目的となる株式数は100株)
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	4,000株
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり1円
新株予約権の行使期間	2020年11月6日～2027年11月5日
新株予約権の主な行使条件	<p>イ. 新株予約権者は、権利行使時においても、当社または当社の子会社若しくは関連会社の役員または従業員の地位にあることを要する。ただし、権利行使時において当該地位に存しない場合といえども、新株予約権者が上記の行使期間の開始後に退任または退職した場合には、退任日または退職日の翌日の2年後の応当日または行使期間の満了日のいずれか早い日までの期間に限り、権利を行使することができる。</p> <p>ロ. 上記イ. 以外の新株予約権の行使の条件については、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当てを受けた者との間で締結する新株予約権付与契約に定めるものとする。</p>
新株予約権の取得事由	<p>イ. 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、当社が分割会社となる吸収分割契約もしくは新設分割計画の承認の議案、または、当社が完全子会社となる株式交換契約承認の議案もしくは株式移転計画承認の議案が株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は、当社取締役会決議がなされたとき）は、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p> <p>ロ. 当社は、新株予約権者が上記の新株予約権の主な行使条件の規定により権利を行使する条件に該当しなくなった場合には、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権者が保有する当該新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p>
有利な条件の内容	—

回次	第32回新株予約権
発行決議の日	2018年6月21日
保有人数	
当社取締役（社外役員を除く）	1名
当社社外取締役（社外役員に限る）	一名
当社監査役	一名
新株予約権の数	51個 (新株予約権1個につき目的となる株式数は100株)
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	5,100株
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり1円
新株予約権の行使期間	2018年7月7日～2048年7月6日
新株予約権の主な行使条件	<p>イ. 取締役は、当社、当社の子会社若しくは関連会社の役員または従業員いずれの地位をも喪失した日から10日以内に限り、権利を行使することができる。</p> <p>ロ. 上記イ. 以外の新株予約権の行使の条件については、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当てを受けた者との間で締結する新株予約権付与契約に定めるものとする。</p>
新株予約権の取得事由	<p>イ. 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、当社が分割会社となる吸収分割契約もしくは新設分割計画の承認の議案、または、当社が完全子会社となる株式交換契約承認の議案もしくは株式移転計画承認の議案が株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は、当社取締役会決議がなされたとき）は、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p> <p>ロ. 当社は、取締役が上記の新株予約権の主な行使条件の規定により権利を行使する条件に該当しなくなった場合には、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する取締役が保有する当該新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p>
有利な条件の内容	—

回次	第34回新株予約権
発行決議の日	2018年10月18日
保有人数	
当社取締役（社外役員を除く）	1名
当社社外取締役（社外役員に限る）	一名
当社監査役	一名
新株予約権の数	44個 (新株予約権1個につき目的となる株式数は100株)
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	4,400株
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり1円
新株予約権の行使期間	2021年11月2日～2028年11月1日
新株予約権の主な行使条件	<p>イ. 新株予約権者は、権利行使時においても、当社または当社の子会社若しくは関連会社の役員または従業員の地位にあることを要する。ただし、権利行使時において当該地位に存しない場合といえども、新株予約権者が上記の行使期間の開始後に退任または退職した場合には、退任日または退職日の翌日の2年後の応当日または行使期間の満了日のいずれか早い日までの期間に限り、権利を行使することができる。</p> <p>ロ. 上記イ. 以外の新株予約権の行使の条件については、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当てを受けた者との間で締結する新株予約権付与契約に定めるものとする。</p>
新株予約権の取得事由	<p>イ. 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、当社が分割会社となる吸収分割契約もしくは新設分割計画の承認の議案、または、当社が完全子会社となる株式交換契約承認の議案もしくは株式移転計画承認の議案が株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は、当社取締役会決議がなされたとき）は、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p> <p>ロ. 当社は、新株予約権者が上記の新株予約権の主な行使条件の規定により権利を行使する条件に該当しなくなった場合には、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権者が保有する当該新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p>
有利な条件の内容	—

回次	第35回新株予約権
発行決議の日	2019年6月20日
保有人数	
当社取締役（社外役員を除く）	2名
当社社外取締役（社外役員に限る）	一名
当社監査役	一名
新株予約権の数	99個 (新株予約権1個につき目的となる株式数は100株)
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	9,900株
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり1円
新株予約権の行使期間	2019年7月6日～2049年7月5日
新株予約権の主な行使条件	<p>イ. 取締役は、当社、当社の子会社若しくは関連会社の役員または従業員いずれの地位をも喪失した日から10日以内に限り、権利を行使することができる。</p> <p>ロ. 上記イ. 以外の新株予約権の行使の条件については、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当てを受けた者との間で締結する新株予約権付与契約に定めるものとする。</p>
新株予約権の取得事由	<p>イ. 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、当社が分割会社となる吸収分割契約もしくは新設分割計画の承認の議案、または、当社が完全子会社となる株式交換契約承認の議案もしくは株式移転計画承認の議案が株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は、当社取締役会決議がなされたとき）は、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p> <p>ロ. 当社は、取締役が上記の新株予約権の主な行使条件の規定により権利を行使する条件に該当しなくなった場合には、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する取締役が保有する当該新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p>
有利な条件の内容	—

回次	第37回新株予約権
発行決議の日	2019年10月17日
保有人数	
当社取締役（社外役員を除く）	2名
当社社外取締役（社外役員に限る）	一名
当社監査役	一名
新株予約権の数	83個 (新株予約権1個につき目的となる株式数は100株)
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	8,300株
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり1円
新株予約権の行使期間	2022年11月1日～2029年10月31日
新株予約権の主な行使条件	<p>イ. 新株予約権者は、権利行使時においても、当社または当社の子会社若しくは関連会社の役員または従業員の地位にあることを要する。ただし、権利行使時において当該地位に存しない場合といえども、新株予約権者が上記の行使期間の開始後に退任または退職した場合には、退任日または退職日の翌日の2年後の応当日または行使期間の満了日のいずれか早い日までの期間に限り、権利を行使することができる。</p> <p>ロ. 上記イ. 以外の新株予約権の行使の条件については、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当てを受けた者との間で締結する新株予約権付与契約に定めるものとする。</p>
新株予約権の取得事由	<p>イ. 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、当社が分割会社となる吸収分割契約もしくは新設分割計画の承認の議案、または、当社が完全子会社となる株式交換契約承認の議案もしくは株式移転計画承認の議案が株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は、当社取締役会決議がなされたとき）は、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p> <p>ロ. 当社は、新株予約権者が上記の新株予約権の主な行使条件の規定により権利を行使する条件に該当しなくなった場合には、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権者が保有する当該新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p>
有利な条件の内容	—

回次	第38回新株予約権
発行決議の日	2020年6月25日
保有人数	
当社取締役（社外役員を除く）	2名
当社社外取締役（社外役員に限る）	一名
当社監査役	一名
新株予約権の数	126個 (新株予約権1個につき目的となる株式数は100株)
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	12,600株
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり1円
新株予約権の行使期間	2020年7月11日～2050年7月10日
新株予約権の主な行使条件	<p>イ. 取締役は、当社、当社の子会社若しくは関連会社の役員または従業員いずれの地位をも喪失した日から10日以内に限り、権利を行使することができる。</p> <p>ロ. 上記イ. 以外の新株予約権の行使の条件については、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当てを受けた者との間で締結する新株予約権付与契約に定めるものとする。</p>
新株予約権の取得事由	<p>イ. 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、当社が分割会社となる吸収分割契約もしくは新設分割計画の承認の議案、または、当社が完全子会社となる株式交換契約承認の議案もしくは株式移転計画承認の議案が株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は、当社取締役会決議がなされたとき）は、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p> <p>ロ. 当社は、取締役が上記の新株予約権の主な行使条件の規定により権利を行使する条件に該当しなくなった場合には、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する取締役が保有する当該新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p>
有利な条件の内容	—

回次	第39回新株予約権
発行決議の日	2020年6月25日
保有人数	
当社取締役（社外役員を除く）	2名
当社社外取締役（社外役員に限る）	一名
当社監査役	一名
新株予約権の数	686個 (新株予約権1個につき目的となる株式数は100株)
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	68,600株
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり1円
新株予約権の行使期間	2023年7月10日～2030年7月9日
新株予約権の主な行使条件	<p>イ. 取締役は、権利行使時においても、当社または当社の子会社若しくは関連会社の役員または従業員の地位にあることを要する。ただし、権利行使時において当該地位に存しない場合といえども、取締役が上記の行使期間の開始後に退任または退職した場合には、退任日または退職日の翌日の2年後の応当日または行使期間の満了日のいずれか早い日までの期間に限り、権利を行使することができる。</p> <p>ロ. 上記イ. 以外の新株予約権の行使の条件については、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当てを受けた者との間で締結する新株予約権付与契約に定めるものとする。</p>
新株予約権の取得事由	<p>イ. 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、当社が分割会社となる吸収分割契約もしくは新設分割計画の承認の議案、または、当社が完全子会社となる株式交換契約承認の議案もしくは株式移転計画承認の議案が株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は、当社取締役会決議がなされたとき）は、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p> <p>ロ. 当社は、取締役が上記の新株予約権の主な行使条件の規定により権利を行使する条件に該当しなくなった場合には、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する取締役が保有する当該新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p>
有利な条件の内容	—

回次	第40回新株予約権
発行決議の日	2021年3月12日
保有人数	
当社取締役（社外役員を除く）	2名
当社社外取締役（社外役員に限る）	一名
当社監査役	一名
新株予約権の数	148個 (新株予約権1個につき目的となる株式数は100株)
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	14,800株
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり1円
新株予約権の行使期間	2024年3月29日～2031年3月28日
新株予約権の主な行使条件	<p>イ. 新株予約権者は、権利行使時においても、当社または当社の子会社若しくは関連会社の役員または従業員の地位にあることを要する。ただし、権利行使時において当該地位に存しない場合といえども、新株予約権者が上記の行使期間の開始後に退任または退職した場合には、退任日または退職日の翌日の2年後の応当日または行使期間の満了日のいずれか早い日までの期間に限り、権利を行使することができる。</p> <p>ロ. 上記イ. 以外の新株予約権の行使の条件については、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当てを受けた者との間で締結する新株予約権付与契約に定めるものとする。</p>
新株予約権の取得事由	<p>イ. 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、当社が分割会社となる吸収分割契約もしくは新設分割計画の承認の議案、または、当社が完全子会社となる株式交換契約承認の議案もしくは株式移転計画承認の議案が株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は、当社取締役会決議がなされたとき）は、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p> <p>ロ. 当社は、新株予約権者が上記の新株予約権の主な行使条件の規定により権利を行使する条件に該当しなくなった場合には、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権者が保有する当該新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p>
有利な条件の内容	—

回次	第41回新株予約権
発行決議の日	2021年6月24日
保有人数	
当社取締役（社外役員を除く）	4名
当社社外取締役（社外役員に限る）	一名
当社監査役	一名
新株予約権の数	116個 (新株予約権1個につき目的となる株式数は100株)
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	11,600株
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり1円
新株予約権の行使期間	2021年7月10日～2051年7月9日
新株予約権の主な行使条件	<p>イ. 取締役は、当社、当社の子会社若しくは関連会社の役員または従業員のいずれの地位をも喪失した日から10日以内に限り、権利を行使することができる。</p> <p>ロ. 上記イ. 以外の新株予約権の行使の条件については、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当てを受けた者との間で締結する新株予約権付与契約に定めるものとする。</p>
新株予約権の取得事由	<p>イ. 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、当社が分割会社となる吸収分割契約もしくは新設分割計画の承認の議案、または、当社が完全子会社となる株式交換契約承認の議案もしくは株式移転計画承認の議案が株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は、当社取締役会決議がなされたとき）は、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p> <p>ロ. 当社は、取締役が上記の新株予約権の主な行使条件の規定により権利を行使する条件に該当しなくなった場合には、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する取締役が保有する当該新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p>
有利な条件の内容	—

回次	第42回新株予約権
発行決議の日	2021年6月24日
保有人数	
当社取締役（社外役員を除く）	4名
当社社外取締役（社外役員に限る）	一名
当社監査役	一名
新株予約権の数	675個 (新株予約権1個につき目的となる株式数は100株)
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	67,500株
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり1円
新株予約権の行使期間	2024年7月9日～2031年7月8日
新株予約権の主な行使条件	<p>イ. 取締役は、権利行使時においても、当社または当社の子会社若しくは関連会社の役員または従業員の地位にあることを要する。ただし、権利行使時において当該地位に存しない場合といえども、取締役が上記の行使期間の開始後に退任または退職した場合には、退任日または退職日の翌日の2年後の応当日または行使期間の満了日のいずれか早い日までの期間に限り、権利を行使することができる。</p> <p>ロ. 上記イ. 以外の新株予約権の行使の条件については、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当てを受けた者との間で締結する新株予約権付与契約に定めるものとする。</p>
新株予約権の取得事由	<p>イ. 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、当社が分割会社となる吸収分割契約もしくは新設分割計画の承認の議案、または、当社が完全子会社となる株式交換契約承認の議案もしくは株式移転計画承認の議案が株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は、当社取締役会決議がなされたとき）は、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p> <p>ロ. 当社は、取締役が上記の新株予約権の主な行使条件の規定により権利を行使する条件に該当しなくなった場合には、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する取締役が保有する当該新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p>
有利な条件の内容	—

回次	第44回新株予約権
発行決議の日	2022年6月30日
保有人数	
当社取締役（社外役員を除く）	4名
当社社外取締役（社外役員に限る）	一名
当社監査役	一名
新株予約権の数	148個 (新株予約権1個につき目的となる株式数は100株)
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	14,800株
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり1円
新株予約権の行使期間	2022年7月16日～2052年7月15日
新株予約権の主な行使条件	<p>イ. 取締役は、権利行使時においても、当社または当社の子会社若しくは関連会社の役員または従業員の地位にあることを要する。ただし、権利行使時において当該地位に存しない場合といえども、取締役が上記の行使期間の開始後に退任または退職した場合には、退任日または退職日の翌日の2年後の応当日または行使期間の満了日のいずれか早い日までの期間に限り、権利を行使することができる。</p> <p>ロ. 上記イ. 以外の新株予約権の行使の条件については、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当てを受けた者との間で締結する新株予約権付与契約に定めるものとする。</p>
新株予約権の取得事由	<p>イ. 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、当社が分割会社となる吸収分割契約もしくは新設分割計画の承認の議案、または、当社が完全子会社となる株式交換契約承認の議案もしくは株式移転計画承認の議案が株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は、当社取締役会決議がなされたとき）は、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p> <p>ロ. 当社は、取締役が上記の新株予約権の主な行使条件の規定により権利を行使する条件に該当しなくなった場合には、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する取締役が保有する当該新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p>
有利な条件の内容	—

回次	第45回新株予約権
発行決議の日	2022年6月30日
保有人数	
当社取締役（社外役員を除く）	4名
当社社外取締役（社外役員に限る）	一名
当社監査役	一名
新株予約権の数	999個 (新株予約権1個につき目的となる株式数は100株)
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	99,900株
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり1円
新株予約権の行使期間	2025年7月15日～2032年7月14日
新株予約権の主な行使条件	<p>イ. 取締役は、権利行使時においても、当社または当社の子会社若しくは関連会社の役員または従業員の地位にあることを要する。ただし、権利行使時において当該地位に存しない場合といえども、取締役が上記の行使期間の開始後に退任または退職した場合には、退任日または退職日の翌日の2年後の応当日または行使期間の満了日のいずれか早い日までの期間に限り、権利を行使することができる。</p> <p>ロ. 上記イ. 以外の新株予約権の行使の条件については、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当てを受けた者との間で締結する新株予約権付与契約に定めるものとする。</p>
新株予約権の取得事由	<p>イ. 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、当社が分割会社となる吸収分割契約もしくは新設分割計画の承認の議案、または、当社が完全子会社となる株式交換契約承認の議案もしくは株式移転計画承認の議案が株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は、当社取締役会決議がなされたとき）は、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p> <p>ロ. 当社は、取締役が上記の新株予約権の主な行使条件の規定により権利を行使する条件に該当しなくなった場合には、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する取締役が保有する当該新株予約権の全てを無償で取得することができる。</p>
有利な条件の内容	—

(2) 当事業年度中に当社使用人、子会社役員および使用人に対して交付された新株予約権の内容の概要

回次	第46回新株予約権
発行決議の日	2023年3月3日
交付された者の人数	
当社使用人 (当社の役員を兼ねている者を除く)	30名
当社の子会社の役員および使用人 (当社の役員または使用人を兼ねている者を除く)	63名
新株予約権の数	1,336個 (新株予約権1個につき目的となる株式数は100株)
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	133,600株
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり1円
新株予約権の行使期間	2026年3月3日～2033年3月2日
新株予約権の主な行使条件	イ. 新株予約権者は、権利行使時においても、当社または当社の子会社若しくは関連会社の役員または従業員の地位にあることを要する。ただし、権利行使時において当該地位に存しない場合といえども、新株予約権者が上記の行使期間の開始後に退任または退職した場合には、退任日または退職日の翌日の2年後の応当日または行使期間の満了日のいずれか早い日までの期間に限り、権利を行使することができる。 ロ. 上記イ. 以外の新株予約権の行使の条件については、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権の割当てを受けた者との間で締結する新株予約権付与契約に定めるものとする。
新株予約権の取得事由	イ. 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、当社が分割会社となる吸収分割契約もしくは新設分割計画の承認の議案、または、当社が完全子会社となる株式交換契約承認の議案もしくは株式移転計画承認の議案が株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は、当社取締役会決議がなされたとき）は、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権の全てを無償で取得することができる。 ロ. 当社は、新株予約権者が上記の新株予約権の主な行使条件の規定により権利を行使する条件に該当しなくなった場合には、当社取締役会が別途定める日が到来することをもって、当社は同日時点で残存する新株予約権者が保有する当該新株予約権の全てを無償で取得することができる。
有利な条件の内容	—

連結計算書類

連結注記表

※ 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

[連結計算書類作成のための基本となる重要な事項に関する注記等]

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数および主要な連結子会社の名称

連結子会社の数……51社

主要な連結子会社の名称……株式会社ミスミ、株式会社駿河生産プラットフォーム

(新規) 当連結会計年度において新たに加わった1社

新規設立に伴うもの

・株式会社D T ダイナミクス

(2) 非連結子会社の数および主要な非連結子会社の名称

非連結子会社の数……1社

・WUXI PARTS SEIKO PRECISION IND CO., LTD.

連結の範囲から除いた理由

非連結子会社は、総資産、売上、当期純損益および利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり、かつ全体としても重要性がないため、連結の範囲から除外しております。

2. 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法を適用した関連会社の数および会社等の名称

持分法を適用した関連会社の数……2社

・アイオーミスミ精密機械貿易（南通）有限公司

・トーヨーミスミ精密機械貿易（南通）有限公司

(2) 持分法を適用しない非連結子会社の数および会社等の名称

持分法を適用しない非連結子会社の数……1社

・WUXI PARTS SEIKO PRECISION IND CO., LTD.

持分法を適用しない理由

持分法非適用会社は、当期純損益および利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり、かつ全体としても重要性がないため、持分法の適用範囲から除外しております。

3. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有 価 証 券

市場価格のない株式等…………… 移動平均法による原価法

② デリバティブ…………… 時価法

③ 棚 卸 資 産

商品、原材料…………… 主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

製品、仕掛品…………… 主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

貯 蔵 品…………… 主として総平均法による原価法

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有 形 固 定 資 産…………… 国内子会社は定率法を採用しております。ただし、1998年4月以降に取得した建物（建物附属設備を除く。）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。在外連結子会社は主として定額法を採用しております。
なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物 2年～45年

機械装置及び運搬具 2年～20年

② 無 形 固 定 資 産

ソフトウェア…………… 社内における利用可能期間（5年）による定額法によっております。
（自社利用分）

その他の無形固定資産…………… 主に定額法（15年）を採用しております。

③ 使 用 権 資 産…………… リース期間に基づく定額法によっております。

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸 倒 引 当 金…………… 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞 与 引 当 金…………… 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当連結会計年度に見合う分を計上しております。

③ 役員賞与引当金…………… 役員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当連結会計年度に見合う分を計上しております。

- ④ 事務所移転費用引当金 …………… 当社の事務所移転に伴い、主に旧事務所賃借料のうち将来支払見込額を計上しております。

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当連結会計年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

② 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

数理計算上の差異については、発生した連結会計年度において費用処理しております。ただし、一部の連結子会社については、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）で費用処理することとしております。

過去勤務費用については、一部の連結子会社において発生しており、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）で費用処理することとしております。

③ 未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の会計処理方法

未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用については、税効果を調整の上、純資産の部におけるその他の包括利益累計額の退職給付に係る調整累計額に計上しております。

(5) 重要な収益及び費用の計上基準

当社グループはF A事業、金型部品事業、VONA事業の3つの領域における各製品の開発、提供を主な事業としています。当該製品の提供については、顧客に引き渡された時点又は顧客が検収した時点で製品に対する支配が顧客に移転すると判断していることから、製品が顧客に引き渡された時点又は顧客が検収した時点で収益を認識しております。ただし、製品の国内の提供については、出荷から顧客に引き渡された時点までの期間が通常の期間である場合は、重要性等に関する代替的な取扱いを適用し、出荷時点で収益を認識しております。収益は顧客との契約において約束された対価から返品、値引及び割戻し等を控除した金額で測定しております。また、買戻し義務を負っている有償支給取引については、金融取引として棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高について金融負債を認識しております。なお、取引の対価は履行義務を充足してから1年以内に受領しております。

(6) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社等の資産および負債は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益および費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定および非支配株主持分に含めております。

(7) 重要なヘッジ会計の方法

繰延ヘッジを採用しております。なお、振当処理の要件を満たしている為替予約については振当処理によっております。

(8) 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

当社及び一部の国内連結子会社は、当連結会計年度から、グループ通算制度を適用しております。また、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日）に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っております。

〔 会計方針の変更 〕

(会計基準等の改正等に伴う会計方針の変更)

米国会計基準A S U第2016-02「リース」の適用

一部の在外連結子会社において、当連結会計年度の期首よりA S U第2016-02「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースについて資産及び負債として認識することといたしました。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

その結果、当該会計基準の適用に伴い、有形固定資産の「使用権資産」が838百万円、流動負債の「リース債務」が190百万円、固定負債の「リース債務」が741百万円増加しております。

なお、当会計基準の適用が当連結会計年度の損益に与える影響は軽微であります。

〔 表示方法の変更 〕

連結損益計算書関係

前連結会計年度において、「営業外収益」の「雑収入」に含めていた「補助金収入」（前連結会計年度9百万円）については、重要性が高まったため当連結会計年度においては区分掲記しております。

〔 会計上の見積りに関する注記 〕

商品及び製品の評価

1. 当連結会計年度の連結計算書類に計上した金額 62,750百万円
2. 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

当社グループでは、販売在庫取扱い開始から一定の期間が経過し、かつ今後販売見込みがないと判断される一定数量以上の商品及び製品について、原則100%帳簿価額を切り下げた価額をもって評価し、評価損は連結損益計算書に計上しております。

従って、販売減少等により帳簿価額を切り下げる商品及び製品が増加した場合には、翌連結会計年度に係る連結計算書類において認識する金額に影響を与える可能性があります。

〔 連結貸借対照表に関する注記 〕

1. 「受取手形及び売掛金」のうち顧客との契約から生じた債権及び契約負債の残高
連結注記表〔収益認識に関する注記〕に記載しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額および減損損失累計額 51,916百万円

3. コミットメントライン契約

当社においては、運転資金の安定的かつ機動的な調達を目的に、取引銀行3行とコミットメントライン契約を締結しております。当連結会計年度末のコミットメントライン契約に係る借入未実行残高等は次のとおりであります。

	(百万円)
	当連結会計年度末残高
コミットメントライン契約の総額	15,000
借入実行残高	—
差引額	15,000

4. 財務制限条項

上記のコミットメントライン契約は財務制限条項が付されており、下記のいずれかに該当した場合、本契約上のすべての債務について期限の利益を喪失する可能性があります。

- (1) 各事業年度末日の連結貸借対照表における純資産の部の合計金額が、直近の事業年度末日の連結貸借対照表における純資産の部の合計金額の75%に相当する金額未満となった場合
- (2) 各事業年度の決算期の連結損益計算書における経常損益に関して、2期連続して経常損失を計上した場合

〔 連結損益計算書に関する注記 〕

1. 顧客との契約から生じる収益

売上高については、顧客との契約から生じる収益及びそれ以外の収益を区分して記載しておりません。顧客との契約から生じる収益の金額は、連結注記表〔収益認識に関する注記〕に記載しております。

2. 新型コロナウイルス感染症による損失

一部の連結子会社において、新型コロナウイルス感染症に対する各国政府等の要請に基づき、感染拡大防止に伴う臨時費用を特別損失に計上しております。

3. 事務所移転費用

当社の事務所移転に伴うものであり、主に重複家賃、引越費用等であります。

〔 連結株主資本等変動計算書に関する注記 〕

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増 加	減 少	当連結会計年度末
普通株式(株)	284,452,897	222,500	—	284,675,397

(変動事由の概要)

増加数の主な内訳は、次のとおりであります。

新株予約権の権利行使による増加 222,500株

2. 自己株式に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増 加	減 少	当連結会計年度末
普通株式(株)	129,896	174	—	130,070

(変動事由の概要)

増加数の主な内訳は、次のとおりであります。

単元未満株式の買取りによる増加 174株

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2022年6月16日 定時株主総会	普通株式	4,182	14.71	2022年3月31日	2022年6月22日
2022年10月27日 取締役会	普通株式	5,062	17.80	2022年9月30日	2022年12月6日
計		9,244			

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議予定	株式の種類	配当の原資	配当金の 総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2023年6月15日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	3,511	12.34	2023年3月31日	2023年6月21日

4. 当連結会計年度末の新株予約権（権利行使期間の初日が到来していないものを除く。）の目的となる株式の種類および数

普通株式 453,800 株

〔 金融商品に関する注記 〕

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社グループは、主にF A事業、金型部品事業、VONA事業において企画・販売を行っており、事業遂行上の設備投資計画については原則自己資金を充当しております。また、一時的な余資は安全性の高い金融資産で運用しており、投機的な取引は行わない方針であります。デリバティブ取引は、為替の変動リスクをヘッジする目的のみに利用する方針であります。

(2) 金融商品の内容およびそのリスク

営業債権である受取手形及び売掛金は、顧客の信用リスクに晒されております。営業債務である支払手形及び買掛金は、1年以内の支払期日であります。また、グローバルに事業を展開していることから、外貨建債権・債務を保有しており、為替変動リスクに晒されております。

当社グループでは、原則外貨建債権・債務をネットしたポジションについて主に先物為替予約を利用して為替変動リスクをヘッジしております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

① 信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

当社グループは、販売管理ルールに従い、営業管理部門が取引先の状況を定期的にモニタリングし、取引相手毎に期日および残高を管理するとともに、財務状況等の悪化等による回収懸念の早期把握や軽減を図っております。

デリバティブ取引の利用にあたっては、信用リスクを軽減するために、格付の高い大手金融機関とのみ取引を行っており、当社では重要な信用リスクはないと判断しております。当期の連結決算日現在における最大の信用リスク額は、信用リスクに晒される金融資産の貸借対照表価額により表わされております。

② 市場リスク（為替や金利等の変動リスク）の管理

当社グループは、外貨建の債権・債務について、通貨別に把握された為替の変動リスクに対し、原則として先物為替予約を利用してヘッジしております。投資有価証券については、定期的に時価や発行体の財務状況等を把握し、保有状況を継続的に見直しております。デリバティブ取引については、現状主に先物為替予約を取扱っております。またその目的は、実需の外貨建債権・債務のヘッジに限定しております。当社のデリバティブ業務に関するリスク管理については、ファイナンス統括内の財務担当者による相互牽制およびチェックにより行われております。

③ 資金調達に係る流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

当社グループは、各部署からの報告に基づきファイナンス統括内にて定期的に資金繰計画を作成・更新するとともに、必要な手許流動性を算定し、その金額を維持することで流動性リスクを管理しております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては、市場価格に基づく価額で、市場動向によって価額が変動することもあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

当連結会計年度末における連結貸借対照表計上額、時価およびこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

区分	連結貸借対照表計上額(* 1、2)	時価(* 1、2)	差額
デリバティブ取引(* 3)	(33)	(33)	—

(* 1) 「現金及び預金」、「受取手形及び売掛金」及び「支払手形及び買掛金」については、現金であること、及び短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(* 2) 負債に計上されているものについては、() で示しております。

(* 3) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務を純額で表示しております。

(注 1) 市場価格のない株式等の連結貸借対照表計上額

(単位：百万円)

区分	連結貸借対照表計上額
非上場株式	6

(注 2) 金銭債権の連結決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

区分	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
(1) 現金及び預金	119,558	—	—	—
(2) 受取手形及び売掛金	76,359	—	—	—
合計	195,918	—	—	—

3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価で連結貸借対照表に計上している金融商品

(単位：百万円)

区分	時価 (* 1)			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
デリバティブ取引 (* 2)				
通貨関連	—	(33)	—	(33)

(* 1) 負債に計上されているものについては、() で示しております。

(* 2) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務を純額で表示しております。

(2) 時価で連結貸借対照表に計上している金融商品以外の金融商品

該当事項はありません。

(注) 時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

デリバティブ取引

金利や為替レート等の観察可能なインプットを用いて割引現在価値法により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

〔 賃貸等不動産に関する注記 〕

賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

〔 収益認識に関する注記 〕

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社グループはF A事業、金型部品事業、VONA事業の3つの領域において事業を展開しております。顧客との契約から生じる収益を分解した情報は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	連結 損益計算書 計上額
	F A事業	金型部品 事業	VONA 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	121,932	79,125	172,093	373,151	—	373,151
外部顧客への売上高	121,932	79,125	172,093	373,151	—	373,151
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	121,932	79,125	172,093	373,151	—	373,151

2. 収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は「連結注記表〔連結計算書類作成のための基本となる重要な事項に関する注記等〕3会計方針に関する事項 (5) 重要な収益及び費用の計上基準」に記載しております。

3. 当期及び翌期以降の収益の金額を理解するための情報

(1) 契約資産及び契約負債の残高等

(単位：百万円)

	当連結会計年度
顧客との契約から生じた債権（期首残高）	
受取手形	15,723
売掛金	61,096
期首残高 合計	76,819
顧客との契約から生じた債権（期末残高）	
受取手形	16,490
売掛金	59,869
期末残高 合計	76,359
契約負債（期首残高）	1,679
契約負債（期末残高）	1,183

契約負債は顧客との契約に基づく支払条件により、顧客から受け取った前受金であります。契約負債は収益の認識に伴い取り崩されます。当連結会計年度に認識された収益の額のうち、期首現在の契約負債残高に含まれていた額は1,679百万円であります。なお、当連結会計年度において、契約負債の重要な変動はありません。

(2) 残存履行義務に配分した取引価格

当社グループにおいて、当初の予想される契約期間が1年を超える重要な取引を認識していないため、実務上の便法を適用し、記載を省略しております。

〔 1株当たり情報に関する注記 〕

1. 1株当たり純資産額	1,093円98銭
2. 1株当たり当期純利益	120円53銭
3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益	120円18銭

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

連結貸借対照表の純資産の部の合計額	314,224百万円
普通株式に係る純資産額	311,286百万円
差額の主な内訳	
新株予約権	1,989百万円
非支配株主持分	948百万円
普通株式の発行済株式数	284,675千株
普通株式の自己株式数	130千株
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数	284,545千株

2. 1株当たり当期純利益および潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

連結損益計算書上の親会社株主に帰属する当期純利益	34,282百万円
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	34,282百万円
普通株主に帰属しない金額	—
普通株式の期中平均株式数	284,420千株
親会社株主に帰属する当期純利益調整額	—
潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に用いられた普通株式増加数の主要な内訳	
新株予約権	841千株
普通株式増加数	841千株
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—

〔 重要な後発事象に関する注記 〕

当社は、2023年4月27日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

1. 理由

当社グループは、将来にわたって競争優位性を保ち、持続的成長と企業価値向上を実現するため、IT、生産、物流の事業基盤の強化やサプライチェーンの強靱化に積極的に取り組み、事業モデルを刷新し続けています。そのため、中長期的な視点での成長投資と株主の皆さまへの還元は、バランスを取りながら実施してまいります。

配当につきましては、経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上なども勘案し、配当性向25%で実施しており、自己株式取得につきましては、手元資金、成長投資機会、株式市場の動向など状況に応じて、機動的に実施していきます。

本自己株式取得は、株主還元の充実と機動的な資本政策を目的としています。

2. 取得する株式の種類：普通株式

3. 取得する株式の数：4,000,000株(上限)

(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.41%)

4. 株式取得価額の総額：10,000百万円(上限)

5. 自己株式取得の期間：2023年5月1日～2023年7月31日

6. 取得方法：取引一任方式による東京証券取引所における市場買付

(ご参考) 2023年3月31日時点の自己株式保有状況

発行済株式総数(自己株式を除く)	284,545,327株
自己株式数	130,070株

計算書類

個別注記表

※ 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

〔 重要な会計方針に係る事項に関する注記 〕

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

関係会社株式…………… 移動平均法による原価法

(2) デリバティブ取引等の評価基準および評価方法

時価法

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金…………… 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当事業年度に見合う分を計上しております。

役員賞与引当金…………… 役員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当事業年度に見合う分を計上しております。

退職給付引当金…………… 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

①退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

②数理計算上の差異の費用処理方法

数理計算上の差異については、発生した事業年度において費用処理しております。

事務所移転費用引当金…………… 当社の事務所移転に伴い、主に旧事務所賃借料のうち将来支払見込額を計上しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

当社は当社グループの経営戦略立案や管理ならびにそれらに付随する業務を行っています。当該業務における財又はサービスの支配が子会社に移転した時点で、財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。なお、取引の対価は履行義務を充足してから1年以内に受領しております。

〔 貸借対照表に関する注記 〕

1. 保証債務

関係会社が行う為替予約および信用状の開設等について、その取引銀行と同取引に係る保証契約を締結しております。保証債務の極度額は以下のとおりであります。

MISUMI USA, INC.	961百万円
PT. MISUMI INDONESIA	120百万円
MISUMI (THAILAND) CO., LTD.	120百万円
MISUMI TAIWAN CORP.	133百万円
MISUMI KOREA CORP.	267百万円
ミスミ(中国)精密機械貿易有限公司	1,335百万円
MISUMI Vietnam CO., LTD.	280百万円
MISUMI Investment USA Corporation	33百万円
MISUMI Mexico S. de R.L. de C.V.	400百万円

上記のほか、関係会社の建物賃貸借契約に係る債務について保証を行っております。

MISUMI Mexico S. de R.L. de C.V.	18百万円
Dayton Progress (Mexico), S. de R.L. de C.V.	52百万円

上記のほか、関係会社の当座借越契約に係る債務について保証を行っております。

MISUMI Mexico S. de R.L. de C.V.	200百万円
Dayton Progress (Mexico), S. de R.L. de C.V.	267百万円

2. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権	8,191百万円
短期金銭債務	6,817百万円

3. コミットメントライン契約

運転資金の安定的かつ機動的な調達を目的に取引銀行3行とコミットメントライン契約を締結しております。当事業年度末におけるコミットメントライン契約に係る借入未実行残高等は次のとおりであります。

	(百万円)
	当事業年度末残高
コミットメントライン契約の総額	15,000
借入実行残高	—
差引額	15,000

4. 財務制限条項

上記のコミットメントライン契約は財務制限条項が付されており、下記のいずれかに該当した場合、本契約上のすべての債務について期限の利益を喪失する可能性があります。

- (1)各事業年度末日の連結貸借対照表における純資産の部の合計金額が、直近の事業年度末日の連結貸借対照表における純資産の部の合計金額の75%に相当する金額未満となった場合
- (2)各事業年度の決算期の連結損益計算書における経常損益に関して、2期連続して経常損失を計上した場合

〔 損益計算書に関する注記 〕

1. 事務所移転費用

当社の事務所移転に伴うものであり、主に重複家賃、引越費用等であります。

2. 関係会社との取引高

営業取引による取引高	
営業収益	22,123百万円
営業費用	1,538百万円
営業取引以外の取引による取引高	670百万円

〔 株主資本等変動計算書に関する注記 〕

自己株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増 加	減 少	当事業年度末
普通株式(株)	129,896	174	—	130,070

(変動事由の概要)

増加数の主な内訳は、次のとおりであります。

 単元未満株式の買取りによる増加 174株

〔 税効果会計に関する注記 〕

1. 繰延税金資産および繰延税金負債の発生 の 主な原因別の内訳

繰延税金資産

新株予約権	600百万円
退職給付引当金	269百万円
未払退職金	220百万円
賞与引当金	58百万円
未払事業税	47百万円
長期未払金	6百万円
その他	842百万円
繰延税金資産小計	2,045百万円
評価性引当額	△768百万円
繰延税金資産合計	1,276百万円

繰延税金負債

組織再編に伴う関係会社株式	57百万円
その他	7百万円
繰延税金負債合計	64百万円

繰延税金資産純額

1,212百万円

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

法定実効税率 30.6 %

(調整)

受取配当金益金不算入	△29.9 %
交際費等損金不算入項目	0.0 %
住民税均等割	0.0 %
その他	0.2 %

税効果会計適用後の法人税等の負担率 1.0 %

3. 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

当社は、当事業年度から、グループ通算制度を適用しております。また、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っております。

〔 関連当事者との取引に関する注記 〕

1. 子会社および関連会社等

(単位：百万円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高(注6)
子会社	(株)ミスミ	(所有)直接100%	役務提供および受入 資金の預け 資金の援助 役員の兼任	配当金の受取	9,244	—	—
				役務の提供(注1)	12,879	未収入金	5,798
				経費等の支払(注1)	14,889	未払金	6,785
				CMS資金管理(注2)	—	関係会社預け金	13,159
				利息の受取(注3)	55	—	—
為替予約(注4)	11,062	デリバティブ資産	16				
子会社	(株)駿河生産プラットフォーム	(所有)直接100%	役務の提供 資金の預け 資金の援助 役員の兼任	CMS資金管理(注2)	—	関係会社預け金	3,306
				資金の貸付(注3)	—	関係会社短期貸付金	2,142
				資金の回収(注3)	1,520	関係会社長期貸付金	1,431
				利息の受取(注3)	38		
子会社	駿河精機(株)	(所有)直接100%	資金の預り 役員の兼任	CMS資金管理(注2)	—	関係会社預り金	2,330
子会社	ミスミ(中国)精密機械貿易有限公司	(所有)間接100%	債務保証 役員の兼任	保証債務(注5)	788	—	—
子会社	MISUMI TREASURY SINGAPORE PTE. LTD.	(所有)間接100%	資金の預り 役員の兼任	CMS資金管理(注2) 利息の支払(注3)	— 241	関係会社預り金	8,148

子会社	MISUMI Europa GmbH	(所有) 間接 100%	資金の預り 役員の兼任	CMS資金管理(注2) 利息の支払(注3)	— 9	関係会社預り金	6,652
子会社	MISUMI USA, INC.	(所有) 間接 100%	資金の預り 役員の兼任	CMS資金管理(注2) 利息の支払(注3)	— 132	関係会社預り金	12,606

(注) 取引条件および取引条件の決定方針等

1. 価格その他の取引条件は、市場実勢を勘案して決定しております。
2. CMS (キャッシュ・マネジメント・システム) による資金管理については、基本契約に基づき残高が毎日変動するため、期末残高のみを記載しております。また、金利は市場金利を勘案して決定しております。
3. 資金の貸付については、市場金利を勘案して決定しており、担保は受け入れておりません。
4. 為替レートについては、契約時の為替相場等に基づき決定しております。
5. 保証債務については、当該会社の為替予約取引に対して保証したものであります。
6. 期末残高には消費税等を含めております。

〔 収益認識に関する注記 〕

収益を理解するための基礎となる情報

個別注記表「〔重要な会計方針に係る事項に関する注記〕（４）収益及び費用の計上基準」に同一の内容を記載しているため、注記を省略しております。

〔 1株当たり情報に関する注記 〕

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. 1株当たり純資産額 | 225円32銭 |
| 2. 1株当たり当期純利益 | 32円96銭 |
| 3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 32円87銭 |

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

貸借対照表の純資産の部の合計額	66,104百万円
普通株式に係る純資産額	64,114百万円
差額の主な内訳	
新株予約権	1,989百万円
普通株式の発行済株式数	284,675千株
普通株式の自己株式数	130千株
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数	284,545千株

2. 1株当たり当期純利益および潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

損益計算書上の当期純利益	9,375百万円
普通株式に係る当期純利益	9,375百万円
普通株主に帰属しない金額	—
普通株式の期中平均株式数	284,420千株
当期純利益調整額	—
潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に用いられた普通株式増加数の主要な内訳	
新株予約権	841千株
普通株式増加数	841千株
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—

〔 重要な後発事象に関する注記 〕

連結注記表「重要な後発事象に関する注記」に同一の内容を記載しておりますので、注記を省略しております。